
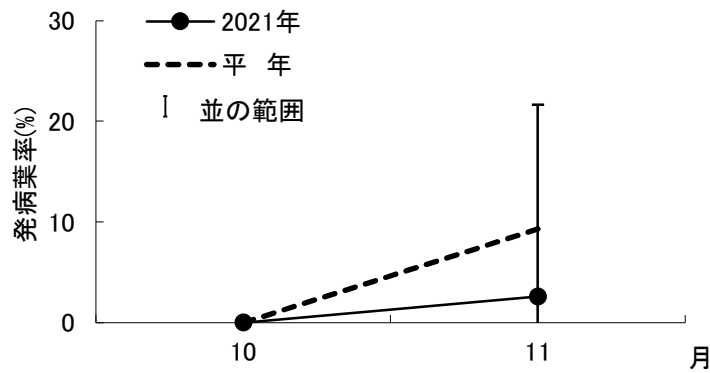


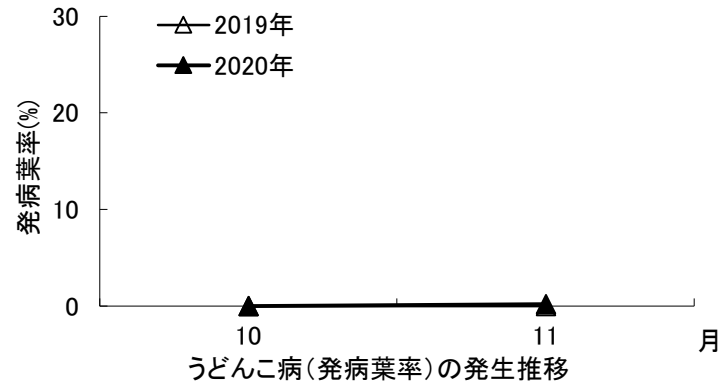
作物	かぼちゃ(1期目)	地域	宮古群島	
病害虫名	うどんこ病			
調査結果	11月の発生量(平年比)			並
予報	11月からの増減傾向			—
	12月の発生量(平年比)	—		
予報の根拠				

調査結果

今年と平年の推移




過去2年の推移



・発生ほ場率：20.0% (平年値：42.9%)

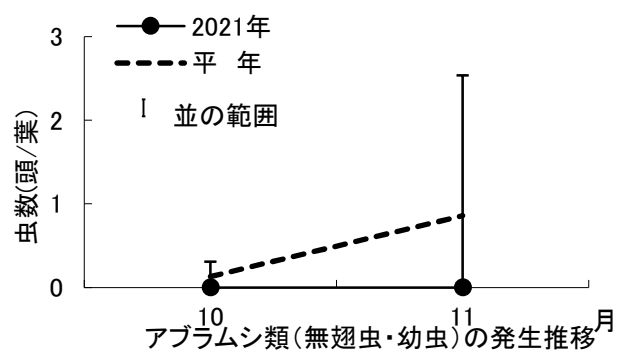
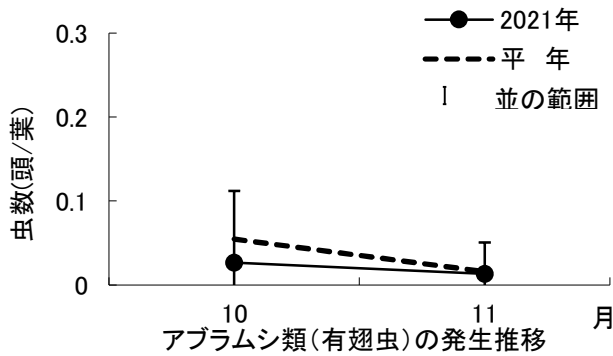
防除のポイント

- ・着果期以降は草勢の低下に伴い被害が急激に広がる場合があるので防除を徹底する。
- ・発生源となる老葉や不要な下葉を除去し、透光通風を良くする。
- ・窒素質肥料の多施用を避け、予防散布を行う。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

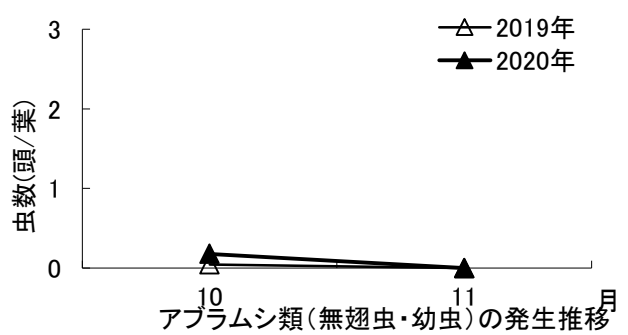
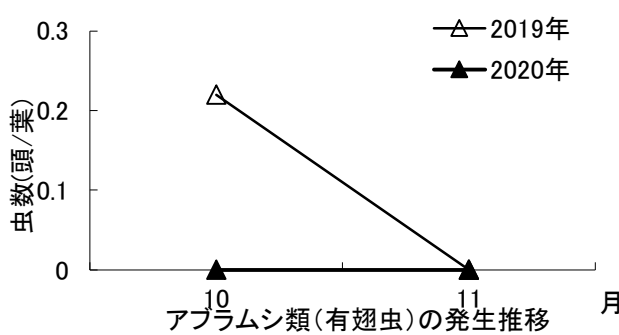
作物	かぼちゃ(1期目)	地域	宮古群島
病害虫名	アブラムシ類		
調査結果	11月の発生量(平年比)	並	
予報	11月からの増減傾向	—	
		12月の発生量(平年比)	—
予報の根拠			

調査結果

今年と平年の推移




過去2年の推移



・発生ほ場率：20%（平年値：8%）

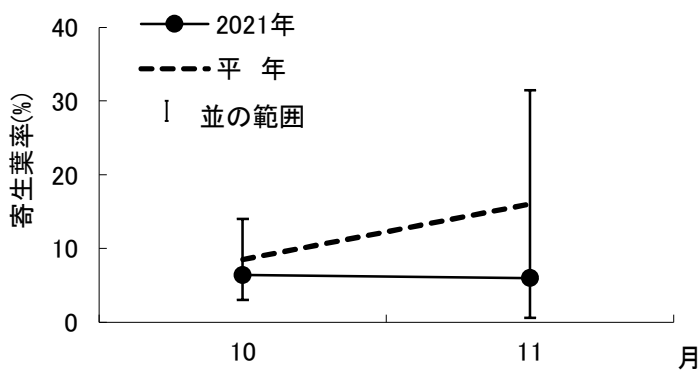
防除のポイント

- ・ほ場周辺に防風対策を兼ねた防虫ネットやソルゴー等を設置し、有翅虫の飛来侵入を防ぐ。
- ・葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・ほ場周辺の雑草はアブラムシ類の発生源になるので除去する。
- ・本種はウイルス病を媒介する。

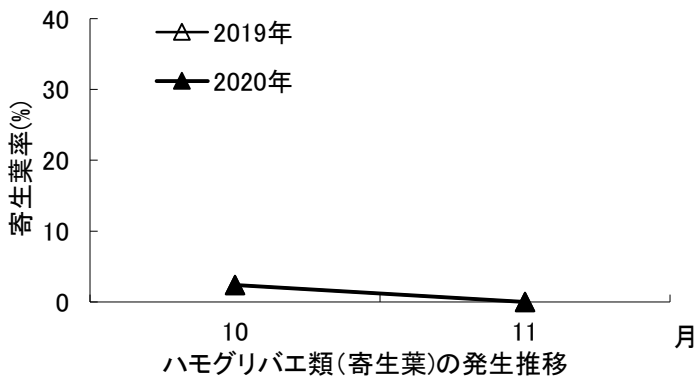
作物	かぼちゃ(1期目)	地域	宮古群島
病害虫名	ハモグリバエ類		
調査結果	11月の発生量(平年比)	並	
予報	11月からの増減傾向	—	
	12月の発生量(平年比)	—	
予報の根拠			

調査結果

今年と平年の推移



過去2年の推移



・発生ほ場率：80%（平年値：37.5%）

防除のポイント

- ・多発すると防除が困難になること、また寄生痕からうどんこ病や細菌性病害が侵入する可能性があることから、発生初期の防除を徹底する。
- ・幼虫期間が短いため、葉面に産卵痕や食害痕が見え始めたら防除を開始する。
- ・防除効果は幼虫の体色で判断する。生存時は黄色で死亡すると黒変する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- ・ほ場周辺の雑草は本種の発生源になるため除去する。

幼虫の死骸（農薬などで死亡すると黒色に変色）

